

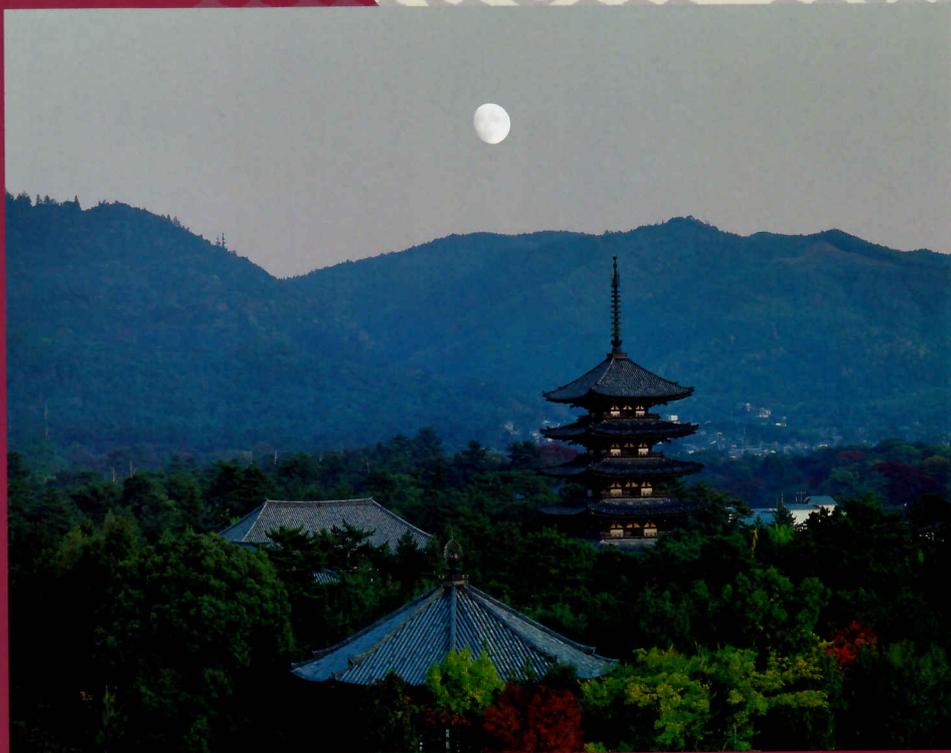
大和路を愛した巨匠

# 土門拳・入江泰吉 二人展

TAIKICHI IRIE



土門拳 唐招提寺 金堂 千手観音立像右脇千手詳細



入江泰吉 興福寺 十三夜

平成18年 9月1日(金) ▼ 9月30日(土)  
ギャラリートーク 平成18年9月10日(日)午後2時から  
重森執氏氏(出版プロデューサー)、説田晃大氏(奈良市写真美術館学芸員)

開館時間 / 9時30分〜17時30分(入館は17時まで)年中無休(但し12月28日〜1月1日を除く)  
入館料 / 一般1,000円(4枚セット券3,000円)  
大学生800円 / 高校生500円 / 中学生以下無料

主催 / 財団法人岡田文化財団、NHKサービスセンター  
特別協力 / 財団法人土門拳記念館、奈良市写真美術館、入江泰吉記念写真美術財団  
協力 / 秋篠寺、飛鳥寺、安居院、圓成寺、興福寺、聖林寺、浄瑠璃寺、新薬師寺、中宮寺、唐招提寺、東大寺、法隆寺、法華寺、室生寺、薬師寺 \*以上、五十音順

後援 / 平城遷都1300年記念事業協会、近畿日本鉄道株式会社、中日新聞社  
協賛 / 株式会社福内カラー、株式会社小学館、株式会社平凡社  
構成 / 重森執氏(出版プロデューサー)、藤森武(土門拳記念館理事)、説田晃大(奈良市写真美術館学芸員)

paramitamuseum

財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

TEL. 059-391-1088 FAX. 059-391-1077

http://www.paramitamuseum.com

E-mail office@paramitamuseum.com MAPCODE 566359095

# 大和路を愛した巨匠 土門拳・入江泰吉二人展

ギャラリートーク  
平成18年9月10日⑩ 午後2時から  
重森執氏(出版プロデューサー)  
説田晃大氏(奈良市写真美術館学芸員)

昭和の写真界を代表する二人の巨匠、土門拳(1909-1990)と入江泰吉(1905-1992)は、ともに大和路を愛し、生涯を通して大和路の古寺、仏像を撮影し続けました。

土門拳が初めて大和路を訪れたのは昭和14(1939)年、それ以降、車椅子に身をゆだねた最晩年まで、大和路の古寺、仏像の秀作を数多く発表しました。一方、入江泰吉は疎開のため引き揚げた郷里奈良で古美術接収の噂を聞き、写真による記録を決意。そして死の前年まで大和路を撮り続けたのです。

クローズアップを多用し仏像や古建築に迫る土門拳の作品と、在りし日々の面影を追い求め静謐で叙情豊かな入江泰吉の作品はときに「動」と「静」、「剛」と「柔」といわれます。このように作風は異なりますが、「日本の美」「日本の心」を追求するという点においては共通しています。

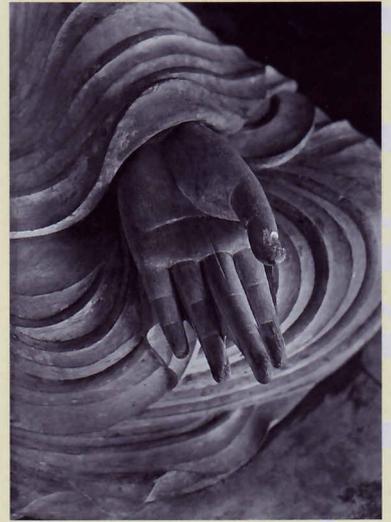
大和路を愛した二人の巨匠の作品から「日本の美」「日本の心」を再発見してください。



土門拳 法隆寺 東院夢殿 露盤



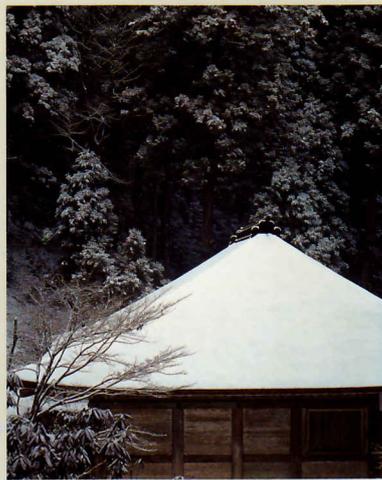
土門拳 法隆寺 西院 中門列柱



土門拳 室生寺 弥勒堂 釈迦如来坐像左手



入江泰吉 東大寺 僧坊跡晩秋



入江泰吉 室生寺 静謐金堂雪景



入江泰吉 興福寺 国宝館 阿修羅像

**paramitamuseum**  
財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6  
Tel. 059-391-1088 Fax. 059-391-1077  
<http://www.paramitamuseum.com>  
E-mail=office@paramitamuseum.com

## 交通機関

【自動車】東名阪[四日市IC]より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km  
無料駐車場(普通車100台、大型バス駐車場)  
【電車】近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m、477号線沿い北側  
全館バリアフリー対応、常備車椅子4台

MAPCODE 566359095

